環境厚生常任委員長報告

(H25.6.21)

環境厚生常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要と結果を報告いたします。

まず、第1号議案、平成25年度一般会計補正予算の本委員会所管分ではありますが、その主な内容は、民生費での、

介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金を活用し、認知症高齢者グループホーム等における防火安全体制の整備を推進するため、介護保険事業所が実施するスプリンクラー設備の設置を助成する経費の増額補正

保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金を活用し、保育士の人材確保対策を推進する一環として、保育士等の処遇改善に取り組む民間保育園を支援する経費の増額補正等であります

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって可決すべきものと決定しました。

次に、第2号議案、亀岡市新型インフルエンザ等

対策本部条例の制定は、特別措置法に基づき亀岡市に設置される対策本部の組織等に関し、必要な事項を定めるものです。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第3号議案、福祉医療費支給条例の一部改正は、ひとり親家庭の医療に係る経済的負担を軽減し、健康の保持及び福祉の増進を図るため、医療費の助成対象を父子家庭にまで拡大しようとするものであり、

賛成討論として対象が父子家庭にまで拡大したことについて評価が出来るとの意見がありました。

採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、本委員会に付託されました請願について、審査経過と結果を報告いたします。

受理番号1、年金2.5%削減を中止するよう意見書提出を求める請願については、年金額の特例水準解消の中止を求める内容です。

賛成討論として、地域経済また財政への影響は計り知れなく、年金制度への不信につながると意見がありました。

反対討論として、年金制度を持続可能なものとするために妥当であり、同時に、低年金者には、最大で月額5千円を支給する年金生活者支援給付金法案も可決され、一定の配慮がされているなどの意見がありました。

採決の結果は、賛成少数で不採択と決定しました。

以上、簡単ではありますが、本委員会の報告とします。

スプリンクラー設備設置により

一層の安全・安心を確保

認知症高齢者グループホーム等における防火安全対策の整備を推進するため、京都府介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金を活用し、事業所が実施するスプリンクラー設備の設置を助成する経費を432万円増額されます。

今回実施される整備により市内の認知症高齢者グループホーム等、全てにスプリンクラーが設置済になり、より一層の安全・安心が確保されます。

福祉医療費支給条例の一部改正
助成対象を父子家庭に拡大

ひとり親家庭の医療に係る経済的な負担を軽減し、健康の保持・増進を図るため、母子家庭を対象にしていた助成制度を父子家庭まで拡大し、あわせて所得制限の見直しを行います。

委員会では助成対象が拡大されることについて評価が出来るとの意見がありました。

Q 「はしか」の予防接種を受ける際に、全額負担になるのか、一部補助を受けられるのか分からない。

A (当日回答) 風しんの予防接種に関しては、京都府及び市の補助により、3分の1の自己負担で済むよう要望したところであり、補正予算に計上される予定である。

(修正) 風しんの予防接種に関しては、京都府及び市に補助を要望している。

回答

麻しん(はしか)の予防接種については、全額負担になります。

ただし、次の場合は全額無料又は一部負担で受けられます。

1. 予防接種事業

麻しん風しん混合ワクチンを接種した場合、1期・2期各1回に限り全額無料。

1期：生後12カ月(1歳)以上24カ月(2歳)未満、

2期：年長児(小学校に入学する前の年の4月1日から入学する年の3月31日までの間にある子ども)

2. 緊急母子保健対策(平成26年3月31日まで)

麻しん風しん混合ワクチンを接種した場合、1回に限り上限6,400円を助成。

対象は19歳以上の妊娠を希望する女性及び妊娠している女性の配偶者

詳しくは健康福祉部健康増進課(0771-25-5004)にお尋ね下さい。